

第5次川口市総合計画 後期基本計画（案）

地域別計画

3 後期基本計画地域別計画

地域別計画とは

地域別計画は、本市の10の地域（中央、横曽根、青木、南平、新郷、神根、芝、安行、戸塚、鳩ヶ谷）ごとに特徴や課題をとらえ、地域の実情に即した取り組みやまちづくりの方向性を定めるものです。

それぞれの地域の実情に沿った取り組みを行いながらも、鳩ヶ谷市との合併を経て進めてきた一体的なまちづくりの考えを踏まえながら、各地域が相互に連携し合うことで、より魅力ある地域づくりをめざしていきます。

(地域について)

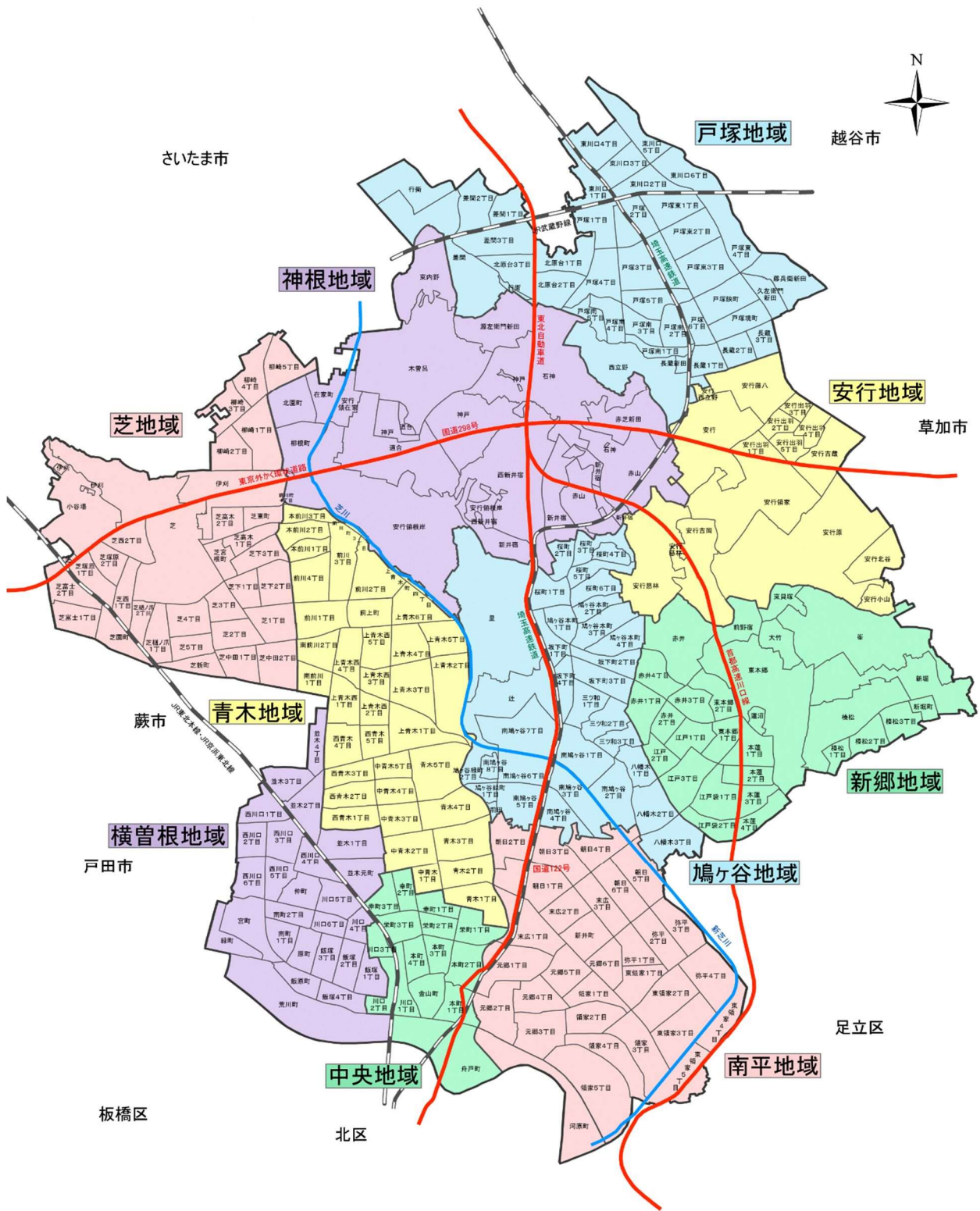
本市の10の地域には歴史的な経緯があります。本市は数度の合併を繰り返してきましたが、現在でも合併前の旧行政区域を地域としてとらえています。各地域は、それぞれ特色ある歴史や地勢を有し特徴や課題もさまざまであり、この地域ごとにまちづくりの方針を示すことは大切であることから地域別計画を定めています。

地域別計画の位置づけと構成

地域別計画は、基本計画各論の各施策を地域の視点からとらえなおしたものです。それぞれの地域特性を踏まえて課題を整理し、基本計画各論の内容から、その地域で特に重要となる取り組みを示しました。

項目名	概要
地域の方向性	地域における取り組みの方向性を記載しています。
地域のポイント	地域に立地する施設や産業・芸術・文化などの特徴、地域の地勢や生じている問題など、その地域の特徴を整理しています。
地域の現況	地域でとらえるべき背景や事象を中心に、地域の現況を記載しています。
主な取り組み	地域の現況を踏まえて、基本計画各論の主な取り組みから、地域で特に注力していく取り組みをより具体的に地域の実情に合わせて記載しています。
人口の推移と推計	住民基本台帳に基づく各地域の人口の推移と推計結果を示しています。

■地域区分図



中央地域

地域の方向性

- ものづくり産業の伝統と宿場町としての歴史を大切にしつつ、経済や文化を中心とする都市機能のさらなる充実を図り、利便性が高く活気あふれるまちをめざします。

地域のポイント

- 本市の鋳物産業発祥の地
- 住・工・商が混在したまちの形成
- 本市の中心的な商業の集積
- 再開発などの土地利用変換によるまちの活性化と防災性の向上
- リリア、キュポ・ラなどの文化・交流施設
- 多様化するライフスタイルに応える川口駅前行政センター
- 「知の拠点」として50万冊の蔵書を誇る中央図書館
- 新たな美術館の整備**
- 川口駅周辺における交通渋滞
- 川口駅・川口元郷駅間の交通ネットワークの整備
- 日光御成道の宿場町としての歴史的背景
- 川口神社や錫杖寺、善光寺などの歴史的資源
- 荒川などの水辺空間
- 大規模災害時の帰宅困難者などの滞留



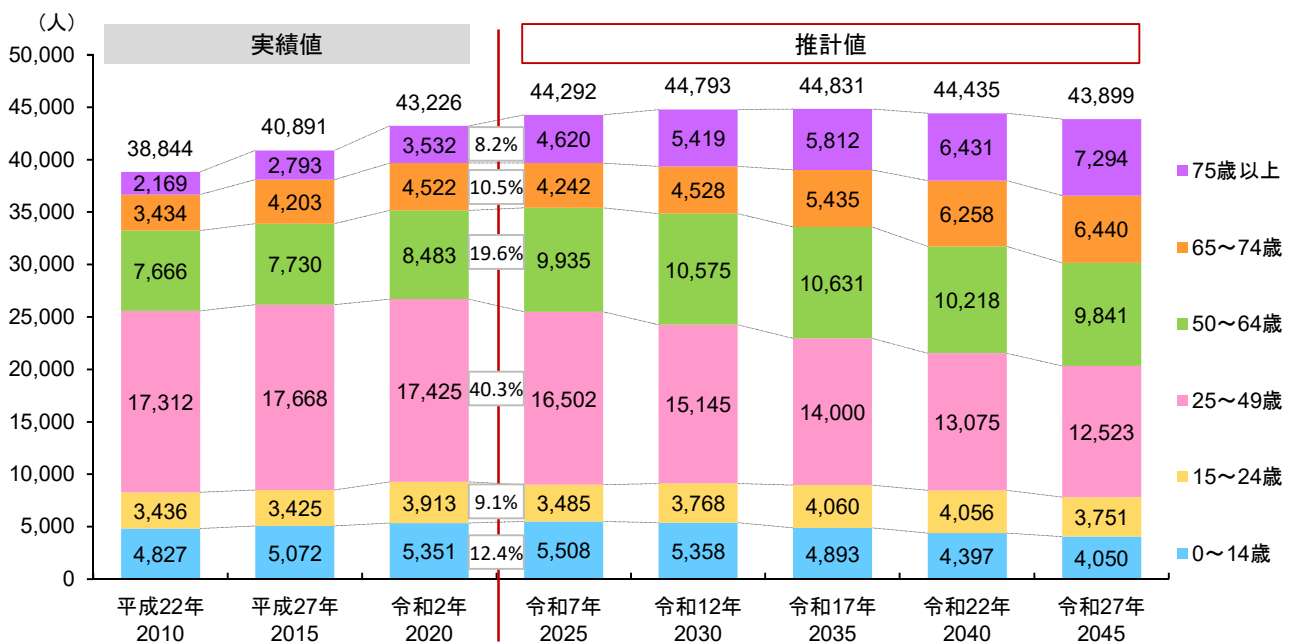
地域の現況

- 鋳物工業の発祥地として工場や住宅などが一体となった独特のまち並みを形成し、さらに川口駅周辺では首都東京に隣接し交通の利便性の良さなどから都市基盤が整備され、再開発などによるマンションや商業・業務機能の集積がみられます。
- 川口総合文化センター（リリア）や、中央ふれあい館、文化財センターなどを有し、生涯学習の場や文化芸術に触れる機会が充実しています。また、川口駅前の複合施設キュポ・ラでは川口駅前行政センターや中央図書館、かわぐち市民パートナーステーションなどの行政機能が充実するなど、高度な都市機能が集約されています。
- 川口駅周辺に住宅や商業・業務機能が集積されたことで、交通渋滞の発生がみられます。通過交通の回避による渋滞解消のため、川口駅を囲む環状道路の整備を行ってきましたが、さらなる推進が求められています。
- 川口駅は、多くの市民に利用され、県下でも有数の乗降客数を有しています。しかし、ラッシュ時の混雑が激しく、市民の利用や安全性に課題があります。また、京浜東北線の遅延や運休時における代替路線がないことから、中距離電車の停車による輸送力増強などが望まれています。
- 日光御成道の宿場町として栄えたかつての面影を残す建築物や、川口神社、錫杖寺、善光寺などの歴史的資源が残ります。日光社参をモチーフとした「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」が開催されるなど、それらを活かしたまちの活性化が図られています。

主な取り組み

- ものづくりの伝統と基盤を維持しつつ、適正な土地利用の推進を図り、住・工・商が協調するまちづくりを推進します。
- リアアを核とした文化芸術活動を促進するとともに、~~新たな美術館を整備することで~~、質の高い文化芸術を発信し、振興を図ります。
- 川口駅周辺の環状道路の整備をより一層推進し、集中する通過交通車両を分散することで、安全で快適な環境を整備するとともに、環状道路周辺の回遊性を確保することで、まちの活性化を図ります。
- 川口駅と川口元郷駅間の交通ネットワークの強化と回遊性の向上によって、互いの相乗効果を生み出し、両駅を結ぶ道路の魅力ある沿道空間の形成を図り、生活拠点としての付加価値を高めます。
- 市民の利便性と安全性を向上させるため、川口駅への中距離電車停車の実現に向けて、周辺のまちづくりや駅整備のあり方について検討を進めるとともに、バス乗降場を含む駅前広場や埼玉高速鉄道線の利用環境の改善に取り組んでいきます。
- 地域の資源を活かし、「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」などの観光資源化と集客の促進を図ります。
- 荒川の広大な水辺空間については、防災上の機能に配慮しながら、広く市民に親しまれる自然とのふれあいの場としての活用を図ります。
- 東日本大震災では、川口駅周辺や幹線道路に帰宅困難者などが滞留したことから、帰宅困難者対策などの防災・減災に配慮したまちづくりを推進します。

人口の推移と推計



横曽根地域

地域の方向性

- 西川口駅を中心としたまちの活性化を図るとともに、荒川の河川空間を活かして自然とふれあう場を創出するなど、にぎわいとやすらぎのある安全・安心なまちをめざします。

地域のポイント

- アートの発信拠点であるアートギャラリー・アトリア
- リボンシティといった大規模な土地利用転換による中心市街地の活性化
- 住・工・商が混在したまちの形成
- 空き店舗が多くみられる西川口駅周辺
- にぎわいの再生に向けた住民参加のまちづくり
- 市内で手続きができるパスポートセンター
- 自然と親しめる荒川運動公園
- 公民館などの公共施設の統合
- 中国をはじめとする多くの外国人住民が居住



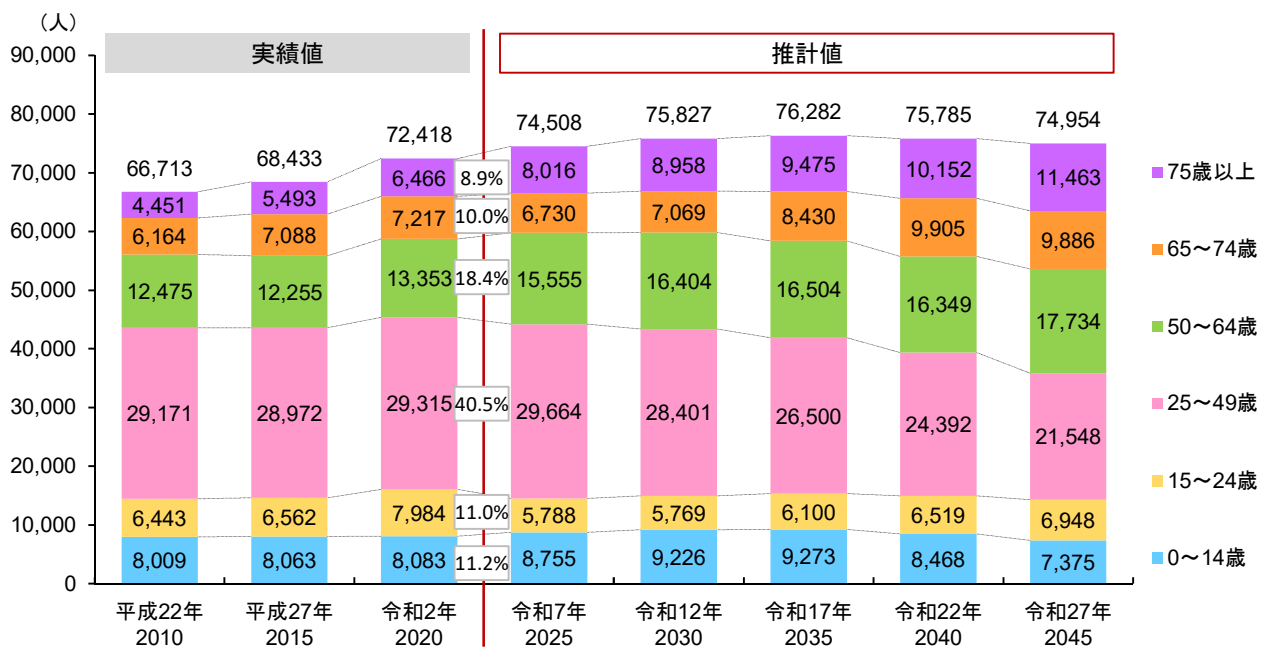
地域の現況

- 川口総合文化センター（リリア）や川口西公園（リリアパーク）といった施設に隣接し、アートギャラリー・アトリアを含む住宅と商業施設の複合市街地であるリボンシティを有しているなど、公共施設や商業施設が集積しています。
- 利便性の高さから工業系の用途地域に住宅の建設が進み、住・工が混在しています。
- 西川口駅周辺においては、飲食店街を中心とする商業・業務地区が広がっています。一方で、空き店舗もみられ、今後の活性化に向けた取り組みが求められています。
- 荒川河川敷は、広々としたオープンスペースを活かし、荒川運動公園においてスポーツやレクリエーション、親水護岸を活用した自然観察の場として利用され、震災時の広域避難場所として指定されています。
- 西川口公民館及び横曽根公民館・横曽根図書館が近距離に立地しており、施設の老朽化も進んでいます。
- 年々外国人住民が増加し続けており、誰もが尊重され、ルールを守りながらともに支えあって生きることができる多文化共生が求められています。

主な取り組み

- アートギャラリー・アトリアを拠点としたアートの情報発信・鑑賞・体験を通して文化芸術の振興を図ります。
- ものづくりの伝統と基盤を維持しつつ、適正な土地利用の推進を図り、住・工・商が協調するまちづくりを推進します。
- 空き店舗の利活用や、まちづくりを推進する市民活動を活性化し、西川口駅周辺のにぎわいの再生を図ります。
- 荒川運動公園において、親水護岸を活用した水辺の動植物に触れる機会をはじめ、市民のレクリエーションの場を提供していきます。
- 近距離に立地している西川口公民館と横曽根公民館・横曽根図書館の統合を推進します。
- 地域に在住する外国人との交流会などゴミ出しのルールや生活マナーの啓発を行うとともに、国際交流員・外国人相談員などを派遣し、国際理解講座を開催するなど、地域における多文化共生の推進を図ります。

人口の推移と推計



青木地域

地域の方向性

- SKIP シティを中心に産業技術や文化の集積と発信を行うことでまちを活性化するとともに、親水空間をはじめとしたゆとりある環境を整備し、多くの人が集う活気あるまちをめざします。

地域のポイント

- 映像産業拠点施設や科学館などを擁する SKIP シティ
- SKIP シティと他地域を結ぶ交通ネットワークの整備
- SKIP シティ北側地域の活用
- スポーツ活動の拠点である青木町公園総合運動場
- 教育の中核的拠点校である川口市立高等学校・附属中学校
- 行政活動の中心となる市役所新庁舎
- 芝川などの水辺空間
- 迫力あるレースで全国のファンを魅了するオートレース場



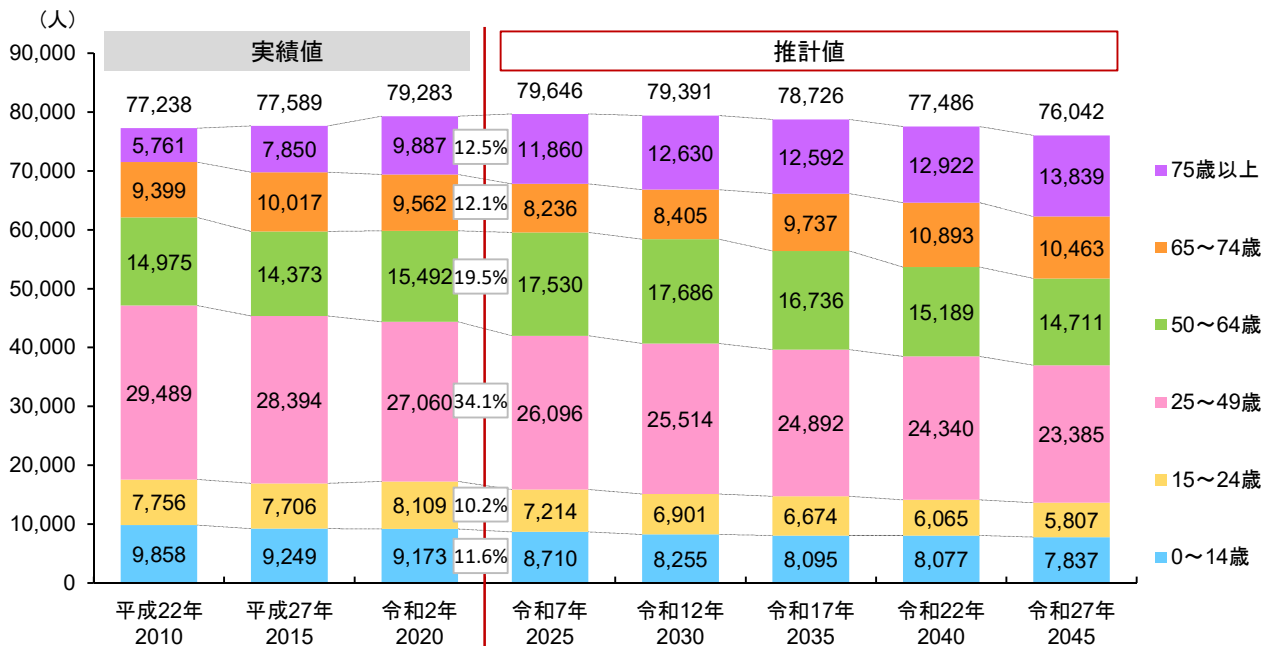
地域の現況

- 早い時期から市街化が進み、公園や道路などの都市基盤が整備され、バスなどの交通網も発達した良好な住宅地を形成する一方、昔ながらの工場も存在しています。
- 中小企業の振興や映像産業の拠点である SKIP シティは、県やNHK などの各種施設とともに本市の科学館も有し、多くの市民に利用されています。一方、SKIP シティ北側地域においては、NHK が、新しい施設を建設し、令和 8 年度の運用開始を予定しています。また、残された土地の有効活用が求められています。
- 地域社会のリーダーとなる人材を育成するため、平成 30 年度に開校した川口市立高等学校はグラウンドの完成に向け整備をしています。また、令和 3 年 4 月には、川口市立高等学校附属中学校が開校しました。
- 令和 2 年 3 月、旧市民会館跡地に市役所第一本庁舎が竣工し、引き続き新庁舎 2 期棟の建設を進めています。
- 芝川などの河川においては、親しみのある水辺空間の整備が求められています。

主な取り組み

- SKIP シティのさらなる活用と周辺地域の発展のため、交通動線の確保と回遊性の向上を図るとともに、都市機能を集積させ、人が集まる魅力的な空間を形成し、都市活動の活性化を促進します。
- SKIP シティ北側地域においては、既存施設や新たに建設される NHK 施設と連携し、映像産業関連施設や商業施設などを整備し、地域住民の利便性向上や地域の活性化につながる活気あるまちづくりを推進します。
- 市内市立学校の中核的拠点校となるよう教育都市にふさわしい川口市立高等学校・附属中学校の整備を、地域社会や SKIP シティを中心とする産学官と連携しながら推進していきます。
- 市役所旧本庁舎敷地に建設する新庁舎 2 期棟の工事を推進します。
- 地域を流れる芝川などの親水空間を整備・管理することで、うるおいのあるまちづくりを推進します。

人口の推移と推計



南平地域

地域の方向性

- 住宅と工場が共生し、荒川や芝川などの地域の資源を活かした、うるおいと活力を創出する快適な住み良いまちをめざします。

地域のポイント

- 南平工業団地や大規模工場の立地
- 工場跡の多様な利活用
- 住・工が混在したまちの形成
- 川口元郷駅周辺の生活拠点づくり
- 川口元郷駅を中心とした交通ネットワークの整備
- 川口市立高等学校第2校地（市立川口高等学校跡地）の整備
- 廃棄物処理とリサイクルを推進する朝日環境センター
- 領家の囃子と神楽などの郷土芸能
- 国指定重要文化財の旧田中家住宅や市指定文化財の平柳蔵人居館跡
- 芝川の親水空間や新芝川のマリーナ



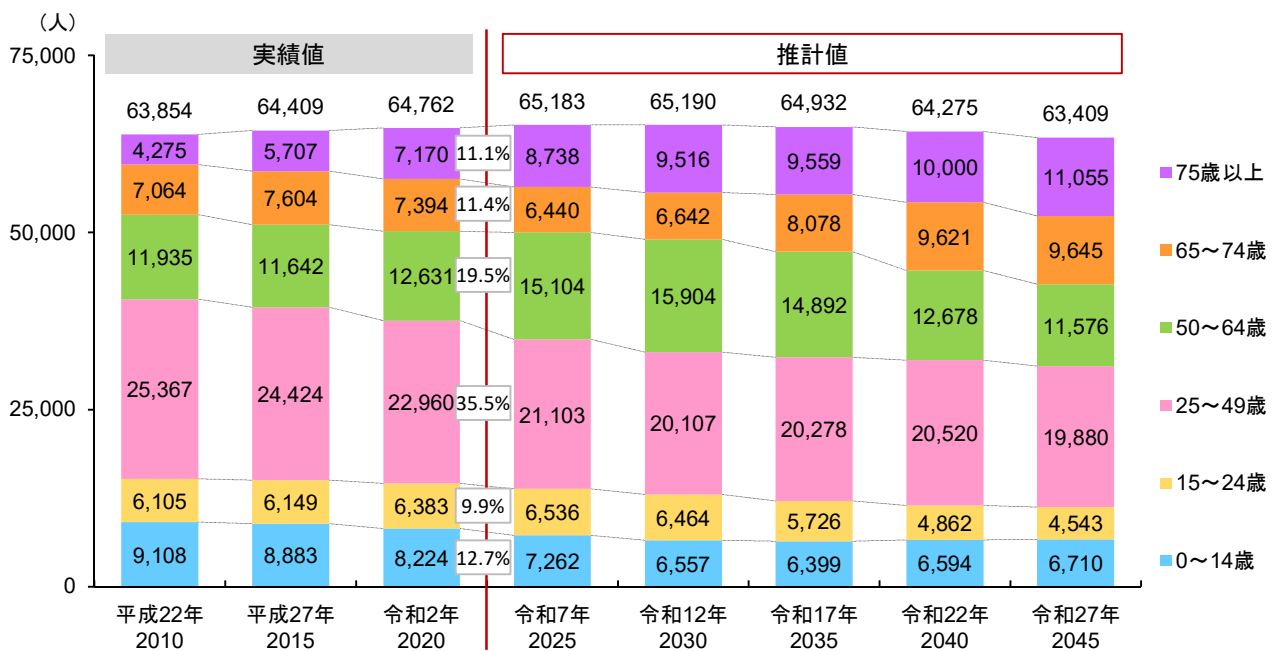
地域の現況

- 基盤整備は概ね完了しているものの、土地利用については、南平工業団地の整備などによる大規模な工場が立地する一方、社会経済情勢によって工場の操業が厳しくなりマンションなどへの転換も増えており、住宅と工場が混在する地区も見受けられます。
- 川口元郷駅の開業によって交通の利便性が増したことで、中高層マンションなどの建設が進み、住宅市街地の性格を強めています。今後、川口元郷駅周辺は生活拠点として必要な機能の充実など、駅周辺の活性化が求められています。
- 江戸時代後期から伝わる郷土芸能である領家の囃子と神楽など、市指定無形民俗文化財があります。また、国指定重要文化財である旧田中家住宅を有し、地域のシンボルとしてだけでなく、歴史的に価値のある建物を内覧できるように一般公開をしています。
- 荒川、芝川、新芝川を域内に有していることから、治水対策を基本としながら市民が親しみやすい水辺環境づくりに継続的に取り組んでいます。

主な取り組み

- ものづくりの伝統と基盤を維持しつつ、適正な土地利用の推進を図り、住・工が共生できるまちづくりを推進します。
- 川口元郷駅周辺においては、利便性の高い商業・業務機能と中高層の共同住宅が共生する複合市街地の形成をめざし、生活拠点としての機能を向上させます。
- 川口元郷駅への交通ネットワークを整備することで、地域住民の交通アクセスの向上を図り、利便性・安全性を高めます。
- 芝川サイクリングロードを活用して、水辺環境で気軽にレクリエーションを楽しめるような環境づくりを推進します。

人口の推移と推計



新郷地域

地域の方向性

- 貴重な緑地や歴史的資源を大切にしながら、治水・遊水機能を含めた都市基盤の整備を推進するとともに、住宅と工場が共生する安全で快適なまちをめざします。

地域のポイント

- 新郷貝塚、峯ヶ岡八幡神社などの歴史的資源
- 江戸袋の獅子舞などの郷土芸能
- 住・工が混在したまちの形成
- 新郷工業団地の存在
- 農業の後継者不足や都市化による農地の減少
- 貴重な樹林地や農地といった自然資源
- 首都高速川口線の縦断による利便性の良さ
- 鉄道駅へのアクセス向上
- スプロール化や行き止まり道路などの解消



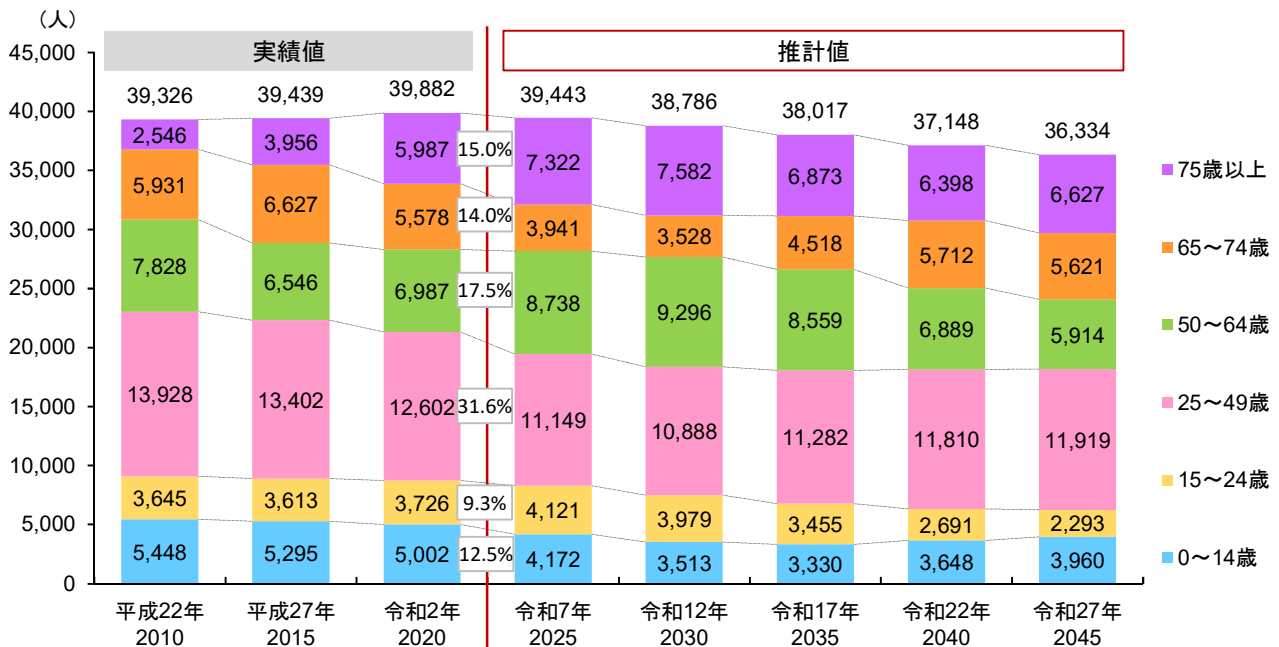
地域の現況

- 北部の台地部には、新郷貝塚、峯ヶ岡八幡神社などの史跡・文化財が所在するとともに、農地や良好な自然環境を有する樹林地が比較的多く残され、戸建住宅を中心とする住宅と共存しています。
- 江戸時代の初期から伝わる江戸袋の獅子舞などの民俗行事も行われ、史跡や文化財だけでなく、地域の伝統行事も継承されています。
- 南部の低地部は新郷工業団地が整備され、その周辺にも工場が立地し工業系の土地利用の集積がみられます。都市基盤が未整備なところでは、ミニ開発などにより住・工が混在しています。
- 都市化や後継者不足により営農環境が厳しい緑化産業に配慮しつつ、緑と共生する良好な住宅地を形成していくため、計画的な都市基盤の整備が求められています。
- スプロール化や狭あい・行き止まり道路といった課題を解消するために、施行中である土地区画整理事業の推進が望まれています。
- 路線バスやコミュニティバスが運行していますが、鉄道駅などとの一層のアクセス向上が求められています。
- 台風やゲリラ豪雨により、水害が発生する地域があることから、その対策が求められています。

主な取り組み

- 都市化や後継者不足により営農環境が厳しい緑化産業に対し、さまざまな支援をすることで、緑化産業の振興と貴重な都市農地の保全を図ります。
- 貴重な緑や歴史的資源の魅力を市内外にアピールし、人々の交流を促進します。
- 施行中の土地区画整理事業を推進することにより道路などの都市基盤を整備するとともに、住・工が共生する緑豊かで快適な住環境を整備します。
- 新郷地域から鉄道駅へのアクセス向上を図ります。
- 多目的遊水地の整備を推進し、治水対策と親水空間の形成を図ります。また、浸水被害を防ぐため、土地区画整理事業に併せた辰井川や貝塚落の治水事業を推進し、防災性の向上を図ります。

人口の推移と推計



神根地域

地域の方向性

- 緑や水辺環境と共存したうるおいある生活空間を生み出すとともに、**集客力のある魅力的な地域資源**を活かしたまちづくりを推進し、人々の交流が盛んでにぎわいのあるまちをめざします。

地域のポイント

- 安行台地を中心とする豊かな緑地
- 伝統野菜である特産農産物（ぼうふう、木の芽）や赤山の枝物などの生産地
- 緑化産業の集積
- 農業の後継者不足や都市化による農地の減少
- 広域幹線道路の交通結節点である川口ジャンクション
- 新井宿駅周辺のまちづくり
- イイナパーク川口の整備
- 赤山城跡、木曾呂の富士塚などの歴史的資源
- 憩いの場であり防災拠点であるグリーンセンター
- 埼玉県南地域の基幹病院であり、災害拠点病院である川口市立医療センター
- 自然と調和した市営の火葬施設である川口市めぐりの森



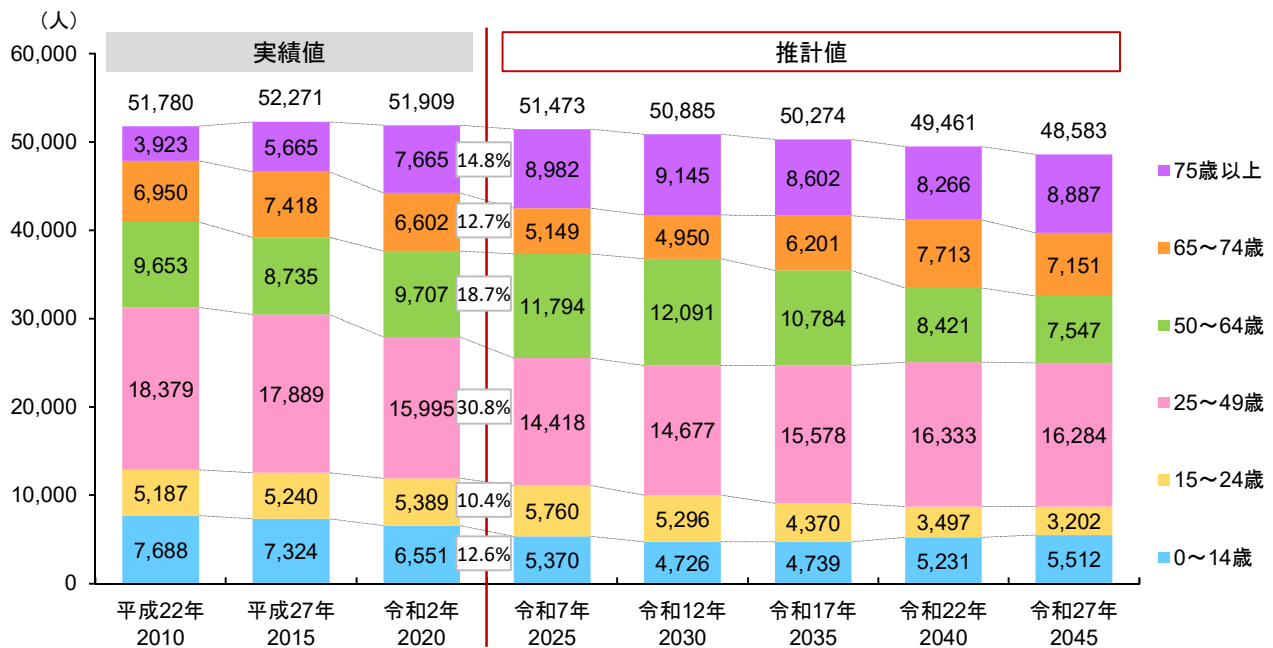
地域の現況

- 安行台地と芝川に沿った低地で構成され、安行台地は樹林地や農地といった緑地が多く残り、伝統野菜である特産農産物（ぼうふう、木の芽）や赤山の枝物などの生産地でもあります。
- 首都高速川口線と東京外かく環状道路が結束する川口ジャンクションが地域の中央に位置し、広域幹線道路の利便性が高くなっています。また、首都高速川口線の川口パーキングエリア周辺では、自然や歴史資源を活かしたイイナパーク川口の整備を進めています。
- 新井宿駅周辺は、イイナパーク川口などの緑の拠点間のネットワークを形成し、緑を守り地域を活性化するまちづくりが求められています。
- 歴史的資源である赤山城跡、緑の拠点であるグリーンセンター、県南地域の基幹病院である医療センターが立地しています。
- 台風やゲリラ豪雨により、水害が発生する地域があることから、対策が求められています。
- 埼玉県が計画している屋内50mプール施設の神根運動場への誘致を進めているとともに、それと合わせた北スポーツセンターの整備を検討しています。

主な取り組み

- 伝統野菜や植木、枝物などのブランドカを強化し都市農業の振興を図るとともに、市民農園や観光農園開設などの取り組みを支援し、貴重な都市農地の保全を図ります。
- イイナパーク川口の整備を推進するとともに、周辺地域とのアクセス向上を図っていきます。
- イイナパーク川口や周辺の豊かな緑、赤山城跡、グリーンセンターなどの観光資源をPRすることで人々の交流とにぎわいを創出します。
- グリーンセンターの改修や再整備を推進し、安全な憩いの場を提供するとともに、防災拠点としての機能の強化を図ります。
- 新井宿駅周辺は、地域の特性に合わせた土地利用を検討することにより、駅周辺にふさわしいまちづくりを図ります。
- 浸水被害を防ぐため、江川流域の洪水調節を目的とした江川第3調節池の整備を推進するとともに、雨水流出抑制対策を推進するなど、防災性の向上を図ります。

人口の推移と推計



注釈：※平成22年から令和2年までの推移は住民基本台帳人口。

※令和7年以降の推計は、基本計画総論の人口と世帯数の推計での推計方法に基づき各地域の人口を推計。

芝地域

地域の方向性

- 密集市街地の解消による安全・安心な住環境づくりを推進し、生活環境の充実を図ることで、ゆとりとうるおいのあるまちをめざします。

地域のポイント

- 鶴ヶ丸八幡神社や羽盡神社、長徳寺などの歴史的資源
- 蕨駅や南浦和駅、東浦和駅に近接する利便性の良さ
- 東京外かく環状道路川口西 IC、外環浦和 IC といった交通アクセスの良さ
- 市民参画によりつくられたゴリラ公園
- 芝のふるさとまつりやスポーツをはじめとする芝地区単位の各種イベント
- 木造住宅や狭あい道路が多い密集市街地の存在
- 中国をはじめとする **多くの外国人住民が居住**



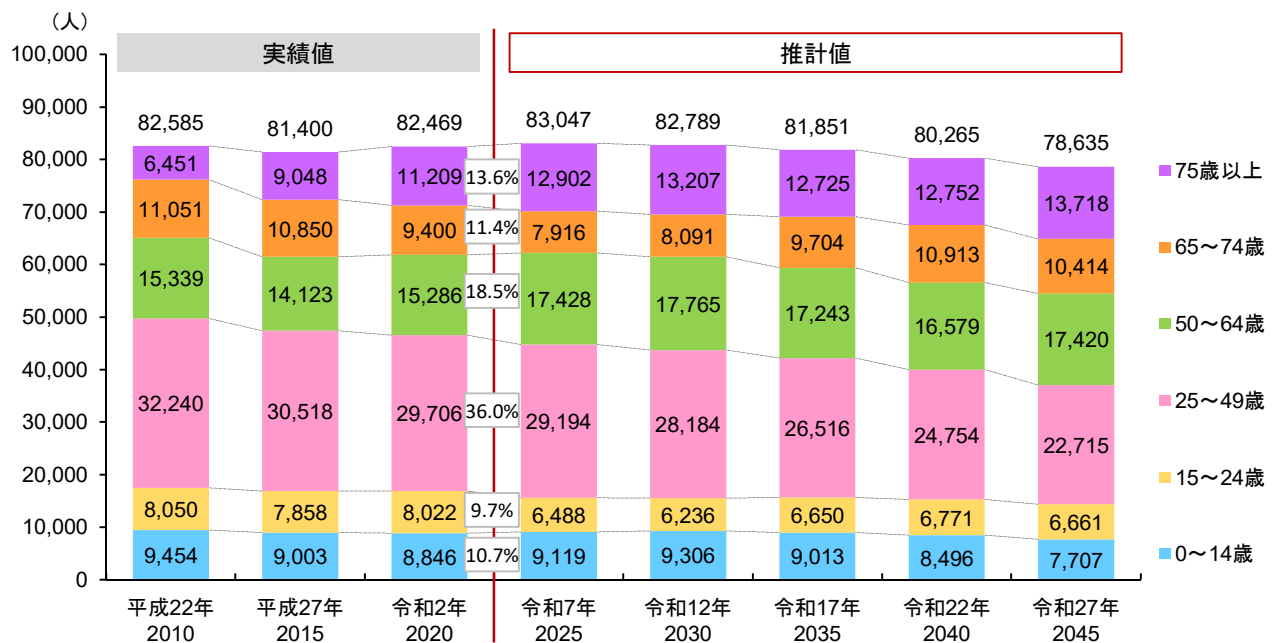
地域の現況

- 交通の利便性に恵まれていたこともあり、昭和 40 年代までの高度経済成長期に急速に市街化が進み、水田の中に寺院や神社が点在した広い空間は、高密度な住宅市街地へと変わりました。
- 土地区画整理事業による快適な生活空間の確保に向けたまちづくりを進めており、施行中の区域では事業の推進が望まれています。
- 市街地が急速に拡大したことでスプロール化し、道路や公園などの都市基盤整備が十分ではなく、防災上の課題を抱えている地区も見受けられます。狭小宅地や狭あい道路が多く存在する地域では、住宅市街地総合整備事業や地区計画の導入、準防火地域の指定などにより快適な生活空間を確保し防災性の向上を図る取り組みを行っています。
- 台風やゲリラ豪雨により、水害が発生する地域があることから、対策が求められています。
- 年々外国人住民が増加し続けており、誰もが尊重され、ルールを守りながらともに支えあって生きることができる多文化共生が求められています。芝園団地では、約 5,000 人の入居者のうち半数以上が外国人であることから、自治会による様々な多文化交流の取組が進められています。

主な取り組み

- 古い歴史を持つ神社仏閣の魅力を市内外にアピールし、人々の交流を促進します。
- 施行中の土地区画整理事業の円滑な推進により、道路や公園などの都市基盤を整備し、緑と調和した良好な住環境の形成を図ります。
- 密集市街地の解消に向け、住宅市街地総合整備事業などによるまちづくりを推進するとともに、地区の状況に合わせて、従来の区画整理手法のほか、都市計画道路や生活道路の先行整備、街区・敷地レベルでの柔軟な整備手法の導入、建物の共同化といったさまざまな手法を検討し、防災性に配慮した安全で快適な市街地整備を推進します。
- 浸水被害を防ぐため、雨水流出抑制対策を推進し、防災性の向上を図ります。
- 地域に在住する外国人との交流会などゴミ出しのルールや生活マナーの啓発を行うとともに、国際交流員・外国人相談員などを派遣し、国際理解講座を開催するなど、地域における多文化共生の推進を図ります。

人口の推移と推計



注釈：※平成22年から令和2年までの推移は住民基本台帳人口。

※令和7年以降の推計は、基本計画総論の人口と世帯数の推計での推計方法に基づき各地域の人口を推計。

安行地域

地域の方向性

- 「植木の里・安行」の伝統を継承し、魅力的で豊かな緑の地域資源を活かすとともに、住環境と自然が調和した安全で快適なまちをめざします。

地域のポイント

- 緑化産業の集積
- 川口緑化センターや植物取引センターなどの緑化関係施設
- 「植木の里・安行」ブランドの強化
- 農業の後継者不足や都市化による農地の減少
- 安行台地の樹林地など豊かな自然環境
- 希少植物であるイチリンソウの自生地
- 興禅院や金剛寺、密蔵院などの歴史的資源
- 戸塚安行駅周辺のまちづくり
- 首都高速川口線安行ランプの利便性の良さ
- 安行原の蛇造りと安行藤八の獅子舞などの郷土芸能



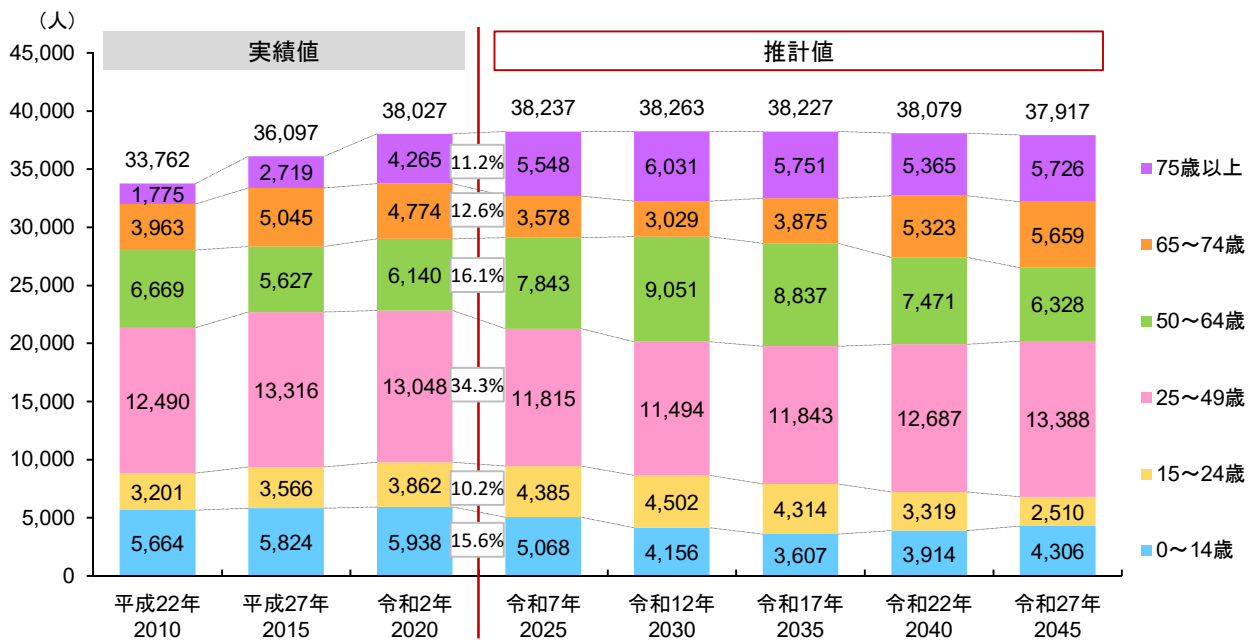
地域の現況

- 市内でも緑の豊かな地域であり、緑化産業が集積していることが特徴です。生産面だけでなく緑化産業に係る情報発信・流通拠点も立地しており、この地域から出荷される植木などは国内でも有数の知名度を誇ります。
- 近年は植木をはじめとする緑化産業の営農環境が悪化し、農地の宅地化や耕作放棄地の増加が続いています。貴重な農地を守るためさまざまな対策を講じて、都市農業の振興を図り、都市農地を保全する必要があります。
- 安行台地の樹林地や周辺の斜面林は本市における貴重な緑の資源であり、周辺地域に広がる多様な自然生態系を含め、本市の天然記念物であるイチリンソウの自生地に代表されるように市民が自然に親しめる散策スポットとしても貴重な場となっています。
- 興禅院や金剛寺、密蔵院などの歴史ある社寺が地域の魅力を形成しています。
- 安行出羽地区は、「植木の里・安行」にふさわしい緑豊かなまち並みを形成することを目標に地区計画が決定され、緑と調和した良好な住環境が形成されてきました。一方、都市基盤が未整備な地区も残っており、スプロール化や狭あい・行き止まり道路といった課題を解消するために、施行中の土地区画整理事業の推進が望まれています。
- 路線バスやコミュニティバスが運行していますが、鉄道駅などとの一層のアクセス向上が求められています。
- 台風やゲリラ豪雨により、水害が発生する地域があることから、対策が求められています。

主な取り組み

- 地域ブランドの強化、市民農園や観光農園開設などの取り組みを支援するとともに、生産緑地・特定生産緑地の指定などにより、農業の振興や農地の保全などを図ります。
- イイナパーク川口を中心とする一帯の整備に併せて地域の回遊性を向上するとともに、地域の観光資源化の取り組みを支援して、人々の交流を活発化し、まちの活性化を図ります。
- 鉄道駅や各種施設へのアクセス向上を図るとともに土地区画整理事業などの円滑な推進により道路や公園などの都市基盤を整備し、緑と調和した良好な住環境の形成を図ります。
- 浸水被害を防ぐため、前野宿川調節池を活用するとともに、前野宿川の治水事業や江川第3調節池の整備を推進することで、防災性の向上を図ります。

人口の推移と推計



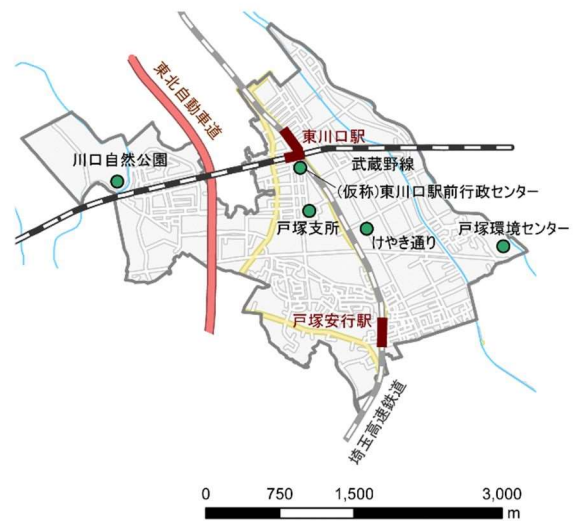
戸塚地域

地域の方向性

- 豊かな水と緑が調和した住環境の創出を図りながら、本市の“北の玄関口”として、にぎわいと交流のあるまちをめざします。

地域のポイント

- 東川口駅や戸塚安行駅のアクセスの良さ
- 東川口駅や戸塚安行駅を中心とする商業・業務機能の集積
- (仮称)東川口駅前行政センターの整備
- 戸塚環境センターの再整備
- にぎわいのあるけやき通り
- 水と緑が調和した良好な都市基盤や住環境の整備
- 農業の後継者不足や都市化による農地の減少
- 見沼たんぼなどの自然環境
- 綾瀬川や見沼代用水といった水辺環境
- 湿地の自然を残す川口自然公園
- 戸塚安行駅周辺のまちづくり



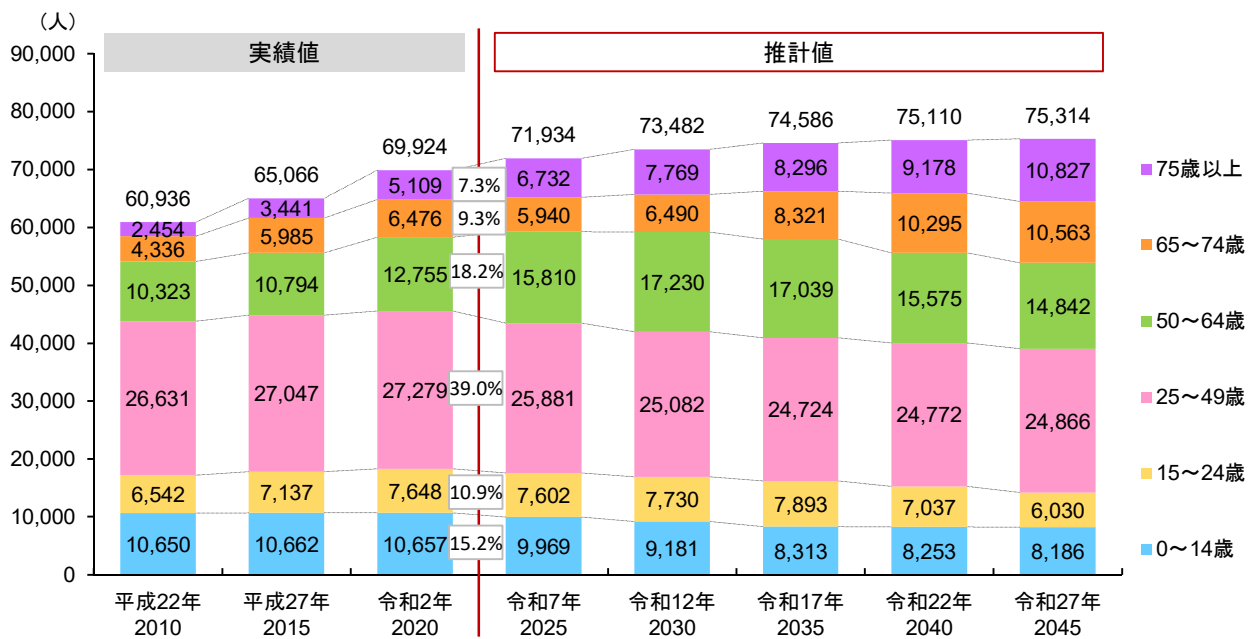
地域の現況

- 昭和45年から土地区画整理事業による都市基盤整備が行われ、その中で昭和48年に武蔵野線東川口駅が開業し、市街地が形成されてきました。特に東川口駅周辺では埼玉高速鉄道線の開通に併せて地区計画を定め、駅周辺のにぎわいを創出する商業・業務機能の誘導を図るとともに住宅と調和したゆとりあるまちづくりを行ってきました。また、戸塚安行駅周辺では、土地区画整理事業が進められ、良好な住環境が整備されるとともに、戸塚南小学校や戸塚スポーツセンターといった施設も設置されました。この地域では施行中の土地区画整理事業の進展などにより引き続き人口の増加が見込まれます。
- 昭和51年に完成した戸塚環境センターでは、清潔で快適な生活環境を維持するため、市内で発生する一般ごみと粗大ごみの適正処理を行っています。
- 近年は植木をはじめとする緑化産業の営農環境が悪化し、農地の宅地化や耕作放棄地の増加が続いています。貴重な農地を守るためさまざまな対策を講じて、都市農業の振興を図り、都市農地を保全する必要があります。
- 見沼たんぼや綾瀬川、見沼代用水などがあり水と緑の自然に恵まれた地域となっています。
- 台風やゲリラ豪雨により、水害が発生する地域があることから、対策が求められています。

主な取り組み

- 市民の利便性向上を図るため、東川口駅に(仮称)東川口駅前行政センターを整備するとともに、駅周辺のにぎわいを創出します。また、戸塚安行駅周辺では、土地区画整理事業を推進することにより、緑と調和した良好な住環境の形成を図ります。
- 既存施設の耐用年数や老朽化を踏まえ、戸塚環境センターに新たな焼却処理施設と粗大ごみ処理施設を整備し、安定したごみ処理を継続します。
- 市民農園や観光農園開設などの取り組みを支援するとともに、生産緑地・特定生産緑地の指定などにより、農業の振興や農地の保全などを図ります。
- 豊かな自然が残る見沼田んぼの特徴を残した川口自然公園など、恵まれた水と緑の資源を活用したうるおいのあるまちづくりを推進します。
- 東川口駅周辺における、JR武蔵野線高架下の浸水対策として、既存水路の排水能力を超える雨水を貯留するための施設を整備し、防災性の向上を図ります。

人口の推移と推計



注釈：※平成22年から令和2年までの推移は住民基本台帳人口。

※令和7年以降の推計は、基本計画総論の人口と世帯数の推計での推計方法に基づき各地域の人口を推計。

鳩ヶ谷地域

地域の方向性

- 日光御成道の宿場町としての歴史文化資源や利便性の高い交通ネットワークを活かし、にぎわいの創出や隣接地域との連携を踏まえた住みやすく訪れたい魅力あるまちをめざします。

地域のポイント

- 鳩ヶ谷駅や南鳩ヶ谷駅を中心とする交通ネットワークの整備
- 隣接する他地域を結ぶ幹線道路などの整備
- 鳩ヶ谷駅や南鳩ヶ谷駅の拠点性及び SKIP シティへの回遊性の向上
- 斜面緑地や社寺林、屋敷林といった緑地の点在
- 鳩ヶ谷氷川神社や地藏院、法性寺などの歴史的資源
- 宿場町としての面影を残す商店街などのまち並み
- 木造住宅や狭あい道路が多い密集市街地の存在
- 沼田公園（鳩ヶ谷市民プール跡地）の有効活用
- 準夜帯における小児夜間救急診療の拠点となる川口市こども夜間救急診療所
- 市の中心部という立地による防災上の機動性



地域の現況

- 本市のほぼ中央に位置しており、市内各地域とのネットワークを高めるための重要な地域となっています。また、埼玉高速鉄道線や国道 122 号、県道さいたま鳩ヶ谷線、県道さいたま草加線といった広域交通ネットワークの要衝をなしており、中でも鳩ヶ谷駅と南鳩ヶ谷駅周辺は、都心へのアクセスに恵まれた地域となっています。
- 見沼代用水や社寺林、屋敷林など豊かな水と緑が生活にやすらぎとうるおいを与えています。
- 日光御成道の宿場町としての面影を残すまち並みに加え、歴史的な建物や文化を有しており、歴史文化の継承が図られています。
- 住環境の整備に向けた土地区画整理事業が進められている一方で、木造住宅や狭あい道路の多い密集市街地や遊休施設なども見受けられ、良好な住環境整備が求められています。
- 台風やゲリラ豪雨により、水害が発生する地域があることから、対策が求められています。

主な取り組み

- 本市のほぼ中央に位置する立地を活かし、鳩ヶ谷駅や南鳩ヶ谷駅から生活拠点を結ぶ交通ネットワークの整備をするとともに、駅周辺の拠点性を高め、適正な土地利用の推進を図り、にぎわいや活気のある一体的なまちづくりを推進します。
- 見沼代用水などの自然環境を活かすとともに、公園の整備や樹林地の保全により水と緑の空間を整備していきます。
- 地藏院や法性寺、日光御成道の宿場町としての面影を残すまち並みなど、歴史文化資源を継承するとともに、鳩ヶ谷駅や南鳩ヶ谷駅、商店街などとの回遊性の向上や活性化を図り、地域のにぎわいを創出していきます。
- 施行中の土地区画整理事業を推進するとともに、木造住宅が密集する地域においては、防災性向上のため生活道路を整備するなど、地域の実情に合わせた住環境の整備を行っていきます。
- 沼田公園（鳩ヶ谷市民プール跡地）については、交通利便性の高い立地を活かし、防災機能を含めた整備を行っていきます。
- 大規模災害時においても持続可能な災害活動拠点として機能する、市内3番目の消防署の整備を推進していきます。
- 浸水被害を防ぐため、永堀川の治水事業や江川第3調節池の整備を推進することで、防災性の向上を図ります。

人口の推移と推計

